

胃がん検診受診の際のご注意

胃がん検診を安全に実施するため、次の事項に該当する方は、**集団検診を受けることができません。**

- | |
|--|
| 1 バリウム検査でアレルギーや体調不良を起こしたことがある。 |
| 2 消化管の穿孔（穴が開いた）、腸閉塞、腸捻転、大腸憩室炎にかかったことがある。 |
| 3 胃を全て切除している。または小腸・大腸の手術をしている。（十二指腸の手術は除く）。2 か月以内に大腸内視鏡手術（大腸ポリープ切除等）をした。 |
| 4 開腹手術を 3 回以上している。（腹腔鏡手術も含む）。 |
| 5 胃・十二指腸・小腸・大腸の病気で治療中である。 |
| 6 1 年以内に手術した（腹腔鏡手術も含む）。
※ 腹部、心臓、呼吸器、頭部、運動器（椎体（背骨）、関節など）。 |
| 7 重篤な病気または体調不良をおこす恐れがある方
○1 年以内の発作（脳血管疾患、虚血性心疾患、不整脈、てんかん）
○未治療または治療を継続していない糖尿病 ○脳圧亢進でシャント中
○大動脈瘤(治療中または未治療)
○メニエール病（治療中または自覚症状がある） |
| 8 透析中、心不全、慢性腎疾患等で水分制限がある。 |
| 9 呼吸困難や肺炎をおこす恐れがある方。
○過去にバリウムが気管に入ったことがある ○喘息発作がある
○普段からむせやすい ○在宅酸素療法中 |
| 10 撮影台から転落の恐れや撮影が困難な方
○自立歩行が困難、または撮影台の手すりを握ることが難しい
○検査のための体位変換（寝返り）ができない ○体重が 130kg 以上
○認知症などで、指示通りに動くことが困難である |
| 11 妊娠中または妊娠していると思われる方 ※女性のみ |